



Teku-Teku
FEATURE

千余年の 郡内織物があやなす世界 星霜経て

郡内織物の象徴。絵甲斐絹の美しき存在感

浮世草子の創始者で知られる井原西鶴の作品にも登場する『郡内縞(じま)』と呼ばれる郡内の名を冠した織物。江戸時代、郡内織物がブランドとして、高い評価を得ていたことが分かる。山梨県富士工業技術センター主任研究員の五十嵐哲也さんは語ります。

「米が思うようにとれなかった郡内地域では、布を織って、それを現金化して年貢を納めていました。しかし山奥の産地ですから商売には不利でした。どうすれば商人が買い付けに来てくれるだろうかと考え、たどり着いた答えは軽くて持ち運びが楽であり、価値の高い上質な高級生地を作るということだったと思われます。そこに生まれたのが後に『甲斐絹(かいぎ)』と呼ばれるようになる優れた郡内織物です。郡内は千年以上の長きにわたり、織物に携わってきた歴史を持つ地域ですから職人の腕も良く、郡内織物は誰もが知る存在となりました」

奢侈(しゃし)禁止令により、ぜいたくは敵とされ、表地に絹を用いたり、派手な色を使ったりしてはいけないとされた時代がありました。「これを機に、おしゃれを楽しまたい人は、羽織の裏地として美しい甲斐絹を好んで使うようになったのです。織機の上で、たて糸に型染めする技法で織る絵甲斐絹は、透けるくらい薄い一方、しっかりと張りがあります。たて糸とよこ糸の妙により生み出される花鳥風月や歌などをイメージした絵柄には奥行きが感じられ、その美しさは日本画や浮世絵にも通じるものがあるように思います。歌舞伎や浄瑠璃の演目に合わせた裏地の羽織を着て舞台を見に行くような、粋な人もいたことでしょう。明治時代には、夏目漱石の『虞美人草』にも登場するほど、甲斐絹の名は広く知られるようになりました」

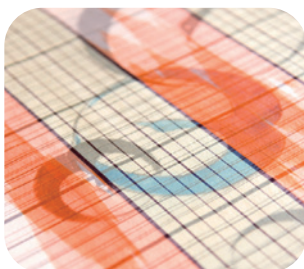


絵甲斐絹とは、織機の上で、たて糸に型染めをする技法で、世界的にも類を見ない郡内織物の特徴です。織り方は全て平織りで、半透明なレイヤー感により奥行きを演出できる優れた技術です。また、織られた生地はたて糸とよこ糸で立体構造をしているため、見る角度によって布の表面の表情が変化します。



印籠

横縞模様は部分的に赤くなったり紺になったりするように、同じ糸を2色に染めたかすり糸を使っています。絵甲斐絹と、かすりの二つの技法を組み合わせ、一つの作品になっています。



鶴と夕焼け

あらかじめ糸を染めた、たて糸で縦縞を入れ、型染めで鶴を描いています。見る角度によって鶴がはっきり見えたり、夕焼けが濃く映えたりする中で、鶴の舞を楽しめる作品です。



松竹梅

松竹梅と風景、そして陰と陽を表現しています。この柄は逆さに見ると昼と夜の表情になることが分かります。意匠に込められた知恵もまた絵甲斐絹の魅力です。

受け継いだ伝統と新しい感性の融合。 産地としての誇りが切り開く未来

「戦後になると洋装化が進み、郡内産地は傘地や高級夜具地、婦人服地、ネクタイ地などの生産に移行し、ブランド製品の受託生産を行うOEMを主とする事業形態となりました。しかし、作り手の名前を表に出すことができないことから、郡内は織物産地としての名を世間から忘れられていったのです」

その後、輸入製品が台頭し、OEMの生産は減少の一途をたどり、産地としての知名度を失った郡内の織物産業は厳しい時代を迎えました。しかし、世界に誇るべき職人の技術が失われることはありませんでした。

「郡内織物は工程が細かいため、古くから撚糸や染めなどさまざまな専門職人による分業がなされ、家業としてその技は傳承されてきました。どれか一つでも欠けたら成り立たない結び付きは、まるで生態系のごとく私は感じています。郡内織物は専門職人たちの力で築きあげられていったものなのです」

そんな産地としての誇りは若い世代にも引き継がれ2012年には「ヤマナシハタオトリトラベル」というグループが結成されました。「未来を切り開く志と感性を持った若手機織り職人たちが集結し活動を始めたのです。郡内織物産地は今、新しい時代を迎えようとしています」

富士山の麓、美しい織物産地「郡内」。千余年の星霜を経て、守り続けられた織物の灯がここにあります。



富士につながる道には、機織りの文化が息づいている



山梨県富士工業技術センター 主任研究員 五十嵐哲也さん

有限会社テンジン

富士吉田市下吉田7-29-2
TEL:0555-22-1860

山崎織物株式会社

南都留郡西桂町小沼1697
TEL:0555-25-2010

有限会社田辺織物

富士吉田市下吉田5644
TEL:0555-22-0039

武藤株式会社

南都留郡西桂町倉見113
TEL:0555-25-2814

株式会社榎田商店

南都留郡西桂町小沼1717
TEL:0555-25-3113

株式会社前田源商店

富士吉田市下吉田2-25-24
TEL:0555-23-2231



ヤマナシハタオリトラベルは
郡内織物事業者有志により
2012年に結成されたグループ

活動はfacebookで発信中! /

ヤマナシ ハタオリ

宮下織物株式会社

富士吉田市新屋1515-1
TEL:0555-22-8870

株式会社甲斐絹座

富士吉田市下吉田2-25-24
TEL:0555-23-2280

舟久保織物

富士吉田市小明見2016
TEL:0555-22-2684

有限会社羽田忠織物

富士吉田市上暮地3-7-26
TEL:0555-22-4584

有限会社渡小織物

富士吉田市下吉田5826
TEL:0555-22-1885

光織物有限会社

富士吉田市松山1-4-13
TEL:0555-22-1384



ヤマナシハタオリトラベル MILL SHOPは、世界でも有数の技術力を持つヤマナシハタオリ産地から、職人が丹念に織り上げたプロダクトを直接お届けするアンテナショップです。

営業時間：10:00～20:00[年中無休]

出店場所：富士山駅ビル Q-STA[キュースタ]1F
富士吉田市上吉田2-5-1

アクセス：電車:富士急行富士山駅 直結 車:河口湖ICから7分
問い合わせ先：TEL. 0555-22-1860



ヤマナシハタオリトラベル MILL SHOPは、工場を意味する「MILL」と織物産地ヤマナシを「見る」の意味から名付けられています。